

沖縄タイムス 2014 年 1 月 24 日(金)掲載

1 月 16 日 「沖縄まちと子ども基金」寄付贈呈式 紹介記事

「子ども基金」へ 興南中など寄付



沖縄の子どもの貧困・孤立の解決を目指すNPOなどに助成する「沖縄まちと子ども基金」に、興南中学校など3団体が16日、基金を運営するみらいファンド沖縄（小

阪代表理事）に寄付金を贈った。写真。

興南中学は、生徒が著名人に取材してまとめた本「15歳へのバトン」の売り上げ10万円を寄付。中学生時代に執筆に携わった興南高1年の豊元慶太郎君は、「自分の活動が本になり、寄付となり、誰かの役に立っているんだと思つて感動している」と胸を張った。

池田食品と手造りの店トミ家工房は、コラボ商品の豆腐詰め合わせセットの売り上げ1%を寄付。トミ家工房の永井達也代表取締役は「沖縄の子どもたちの役に立ちたい。今後も支援を続けていく」と語った。

NPO法人療育ファミリースポーツほほえみの福峯静香

理事長は、昨年12月に出版した自伝「17歳のあなたへ」の収益金の一部を寄付した。

小阪代表理事は「沖縄の子が置かれている現状を研究、調査し、貧困解決を目指したい」と述べた。